

お散歩感覚で
鯖江の市民活動がわがっちゃらブックレット

OSANPO

～サバヌシ総会
メモリアル別冊～



市民は市の“ガブ”ヌミであら。



目次

サバ又シ総会フォトストーリー「第1部」	4p-5p
サバ又シ総会フォトストーリー「第2部」	6p-7p
サバ又シ総会フォトストーリー「第3部」	8p-9p
「サバ又シ総会」秘話 スタッフ座談会	10p-11p
コラム「サバとカブ」 ～“サバ又シ”について考える～	12p-13p
巻末特集「チラシ&ポスターで振り返る さばえNPOサポートのH29年度」	14p-15p

●このページの背景写真は、サバ又シ総会の参加者の皆さんが第2部で手づくりした、個性あふれる“カブ”クラフトの一部です。

『OSANPO』について

■ぶらり“お散歩”感覚で、さばえのNPOや市民活動のことが、気軽に楽しくわかる…それが、「OSANPO」のコンセプトです。

■タイトルに隠れた「NPO」(非営利で活動する組織)は、実は身近な存在で、その気になれば、今すぐ、誰でも参加することができます。…そう、まるで“お散歩”のように☆…

来たたれサバヌシ。 語れ未来!

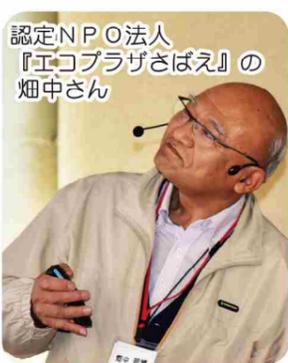
第1部
「サバヌシたちのキセキ」ショー



▲大雪の影響で、開催日&会場が変更されたにも関わらず、席はほぼ満杯に



『防災士ネットワーク』『パークサポートLLP』の岸本さん



認定NPO法人『エコプラザさばえ』の畑中さん



『若者部会 SAN』の中本さん(左)と小西さん(右)



『鯖江おせつ会もてなし隊』の上嶋さん



▶吉川地区の早川さん(上)と、立待地区の谷内さん(下)は、それぞれの地域の『まちづくり応援団』の発表を

サバヌシ総会
主催：サバヌシ総会実行委員会 共催：鯖江市
日時：平成30年3月25日(日) 13時30分
場所：鯖江市民活動交流センター

「サバヌシ!? :なんだそれ?」
そんな感想を持った皆さんも多いのでは?
3月25日(日)に賑々しく開催された『サバヌシ総会』は、まさに『サバヌシ』たちの集う初めてのイベントでした。

『サバヌシ
それは、あなたです!』

『サバエ』の『カブヌシ』：それが『サバヌシ』。
「市民は市の『株主』である」という考えをもとに創り出されたこの言葉。学生たちの発想から生まれた、とても印象的なワードですが、かねてから『市民役』の旗を振る鯖江市民には、なかなか奥の深い響きがあるのではないのでしょうか?

『サバヌシ総会』は3部構成。
第1部は、『市民役』の活動や事業に関わる人たちの軌跡を、ショー仕立てで楽しむ時間。
第2部は、そんな活動の中から見えてきた課題を、「妄想も大歓迎」の楽し

協力が盛んなことで知られています。そんな鯖江で、実際に、行政と市民がタッグを組む活動を実践している皆さんが、『ブランド』『若者』『市民役の事業』『居場所と出番』の4つの視点で、体験と意見を発表。
登場時には、ちょっと大げさなムービーと音楽が流れ、笑いもホンネも織り込まれた。体験してなければ語れないお話が披露されます。
意外にも、そこには『意識が高い』とか『ご奇特な』とか、よく言われるイメージとは違う『自分の人生の延長線上』にある活動の姿がありました。そしてもうひとつ。

ほとんどの発表者から、キーワードのように口をついて出てきていたのが「楽しいことが大切」というセリフ。確かに主役をやるのが苦痛だったらみんな主役を降りちゃうかも。
なるほど納得の内容に、『市民役』の将来へのヒントと、課題の一端が見えた気がしました。

『“お客様”でも
“クレマー”でもなく』

第1部の最後の話題は、『市民役』と『サバヌシ』の関係について。
『主役』であり『株主』であるということは、『地域に対して責任がある立場』だということなのかもしれません。人は、自分の活躍できる『居場所と



◀第1部MCの“大役”を務めてくれたのは、学生団体withの小澤さん(左)と堀江さん(右)

い雰囲気話し合う『大ブレインストーミング(アイデア出し)』大会。
第3部は、地元の食材・食文化にもこだわったお料理を食べながら、とことん語り合う交流会。
5時間にわたる当日の様子を、誌面でプレイバックしてみましょう。

『楽しくなければ
“市民役”じゃない!』

鯖江市は、全国的にも市民と行政の

出番があることで、はじめて社会での自分の価値に気づくもの。
でも、ただ出番を待っているだけでは、『サバヌシ』としては、まだまだビギナー。
『主役』であり『株主』ならば、自分のことも、地域のことも考えながら、お互いに意見を出し合い、みんながベストと思える行動につなげていく心構えが大切なのでは?

：そんな意見表明で締めくくられた第1部。
参加者全員で、『市民役』を推進する大切さを確認しつつ、第2部へとバトンを渡しました。

▼最後は牧野市長も壇上へ『市民役』の将来を参加者と共有



アイデアの海で「宝」を探せ!

第2部 「サバヌシ未来会議」



▲各テーブルをまわり、自分の貴重な“1カブ”をどこに“投資”するか真剣に吟味する



▲自分の『カブ』は、自分でつくる
出来上がった『カブ』も個性いっぱい!

『だったら自分で作ればイイじゃない!』

『サバヌシ』は、『サバエ』の『カブヌシ』。
でも『カブ』なんて持ってなくらい!とお嘆きの皆さん。ダイジョウブ! だったら、自分で作ればイイじゃない!...と始まったのが、アイズブレイクも兼ねた、紙の『カブ』作り。
新聞紙と色画用紙、そしてコピー用紙を使って、自分だけの『カブ』を2つつ作ります。
道具のやり取りで会話も生まれ、何

より作業に集中することで無用な緊張感も忘れられる。
個性いっぱい『カブ』が出来上がった頃には、みんなの気持ちも、準備OKの状態に。

『テーマは4つ』

『未来会議』は、とにかく楽しく、ポジティブに、色々なアイデアを出しまくることが目的とした、頭のエンターテイメント。アイデアの実現性は、あまり重要ではありません。
逆に、ヒトの意見を否定しないことは大切なルールです。



▲みんなのアイデアがドンドン出てくる!

『カブを奪取せよ!』

新鮮で思いもしないアイデアを知ること、笑い、感動、驚きが生まれ、新しい次のアイデアへとつながるのが、この『未来会議』の醍醐味なのです。

各テーブルのアイデアがまとまると、次は『評価』のお時間。ここで、最初に作った『カブ』が再登場します。他のテーブルのアイデアを見て回り、(自分以外のところで)一番気に入ったアイデアのテーブルに、自分の『カブ』をひとつ置く。
『カブ』で“投票”ならぬ“投資”をするという、『サバヌシ』ならではのよくできた仕掛けに脱帽。
つまり、『カブ』をひとつでも多く集めたテーブルが、みんなの共感を得た勝者となります。

こうなると、各テーブルも必死にプレゼンテーションを開始!
賞金があるわけでもないのに、イラストを描いたり、個別にアピール方法を工夫したりと、自分たちのアイデアに投資してもらおうと、会場は、どんどん盛り上がっていきました。
前半の勝者が決まり、テーブルチェンジで後半に突入。
慣れてくればくるほど、より自由な発想、より楽しいアピール方法が湧いてくるのが、この『未来会議』。
後半最後は、2つのテーブルの同点によるプレーオフも行われ終了を迎えます。
年輩の『未来会議』初体験ご夫婦から「本当に楽しかった」とのご感想。それにも納得の、『上場』...じゃなくて『上々』の第2部となりました。

今回は4つのテーマごとにテーブルに分かれ、前半、後半で2つの好きな課題に挑戦します。

【テーマ】

- ◆ 鯖江の人口倍増計画!
- ◆ 鯖江の人口を倍にするには?
- ◆ 私は50年後の市長です。
- ◆ 私のマニフェスト(公約)はこれだ!
- ◆ 自分の趣味をイベントにしよう。
- ◆ どう巻き込む?
- ◆ 通いたくなる市役所ってどんなの?

付箋にアイデアを書きたためて、最後は説明しながら模造紙へ貼り、みんなのアイデアをまとめます。

▼説明やアピールの工夫も『カブ』取得のキモ



▼手づくり『カブ』を両手に持って、全員で記念撮影☆



第2部MCの竹部さん(右から2人目) 流暢な進行も会場を盛り上げた

お料理で 会話も縁も なめらかに。



第3部
「いっしょに話で
満腹交流会」

『ジャンケンの「褒美?」』

『未来会議』の昂揚も収まり始め、陽も傾いてきた午後5時過ぎ、お待ちかねの第3部がスタートしました。飲み物が行き渡ったところで急に始まったのが、司会者vs参加者のジャンケン大会!

何か賞品でも出るのかな?...と思いきや、勝ち抜いた男性に与えられたのは『乾杯のご発声』の榮譽!

さすがに、市民みんなが主役の『サバヌシ総会』、油断(?)は禁物です。

『お料理の物語も一緒に食す』

のども潤い、会話もほちほち弾み始めた頃合いで、料理担当のお店や団体の関係者にマイクが渡されました。交流会に出されたお料理には、何かしら地元の食材や食文化、あるいは地域の活性化に関わる団体とゆかりがあります。

食べ物には、目、鼻、口で味わいますが、それだけにまつわる物語を聞くことで、味覚だけではない『深み』も味わえます。



▲『間伐材の割り箸』は『認定NPO法人エコプラザさばえ』からご提供!

- <右ページのお料理について>
- 【ま・どんな会】
 - ①誠市名物 おでん
 - ②誠市名物 菜の花汁
 - 【PARK 公園食堂】
 - ③鯖とトマトのアランチーニ(米コロッケ)
 - ④鶏肉の唐揚げ 地辛子風味
 - 【tetote】
 - ⑤サバエシュー
 - ⑥ほうれん草シフォンケーキ
 - 【山うに屋 ほやっ停】
 - ⑦山うにたこ焼き 醤油味

ールしてもらおう『1分間スピーチ』の時間も用意されました。企画しているイベントのこと、メンバー募集のこと、寄付のお願いから、本日の感想まで、様々なスピーチが楽しい時間に花を添えてくれます。

登壇する皆さんが、奇をてらうことなく、自然体で話す様子を見るにつけ、逆に、鯖江という地域の市民力を見せつけられたようにも感じます。

たくさんの方々が、それぞれの活動や事業に携わっていること。それは、この鯖江では『あたりまえ』のことなんだなあ...そんな感じが伝わってくるのです。

第1部で、『人生の延長線上』のように活動への思いを語っていた登壇者たち。

第2部で、井戸端会議のようなくだけた雰囲気の中、ど肝を抜くアイデアを披露する老若男女。

「サバエの『普通』には、もしかして凄いやんねんが詰まってるんじゃないの?」

そんなことを、ふと思いつつ...このエネルギーを枯渇させずに継続し、活かしていくためのヒントが、この『サバヌシ総会』のどこかに隠れていそうな気がし始めた、早春の一日となりました。



▲『1分間スピーチ』も18組の大盛況



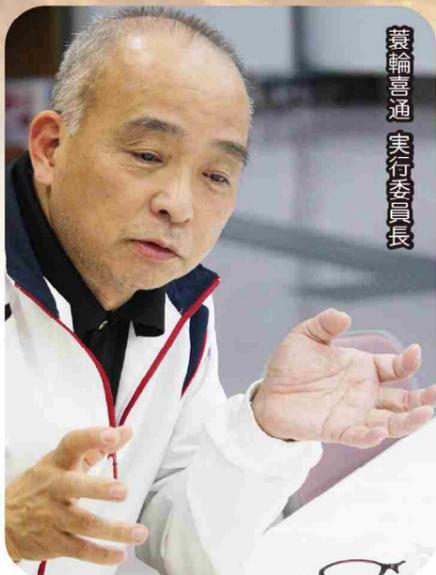
「サバヌシ総会」秘話 スタッフ座談会

<座談会出席者>

- 【サバヌシ総会実行委員会】
- 蓑輪 喜通 (実行委員長)
 - 中村 正一 (副実行委員長 / 『サバヌシ総会』発案者)
 - 八田 登師男 (副実行委員長 兼 第1部責任者)
 - 竹部 美樹 (第2部責任者)
 - 二木 佐緒里 (第3部責任者)

「サバヌシ総会」をやり終えて約1か月。終了直後の高揚感も一段落。美味しいお菓子と飲み物を囲みながら、和やかに振り返ってみました。

※場が暖まるにつれ、福井弁 (& 鯖江弁) 全開でおしゃべりくださった方もおられます。文字でニュアンスをお伝えするのが、なかなか難しいのですが、ぜひ、ネイティブの臨場感をお楽しみください。



蓑輪喜通 実行委員長

八田 あらためて今の実感はいかがですか。

蓑輪 大雪で、開催日が延びたことも影響していると思うんだけど、来場者の多くが、普段から顔をお見かけしている方が多かったかな、って思いましたね。

八田 来られた層が、コアな方々だったということでしょうか。

蓑輪 そうですね。

八田 『サバヌシ総会』のアイデアは、学生団体withでの『合宿プ

中村 正一 副実行委員長



中村 いきなり『ブレインストーミング (アイデア出し)』をやって、これだけ意見が出てくる地域は珍しいみたいですよ。

八田 それと、模造紙でのまとめ方も工夫してたの。

竹部 私もけしかけてたんですよ。

八田 「他のグループは、こんな風にしてるよ」って。(笑)

中村 今回の成果を受けて、次にどのような活かし方をしようか。

蓑輪 『市民役条例推進委員会』と『サバヌシ総会』との連携を考

えて行かなあかんと思うんやっ

ての。

八田 せっかく第2部で良い意見がたくさん出たんやで、どれか一つでも、『形』にできると良いと思うんやっ。

竹部 ◆しみんしゅやくじょうれい すいしんいんかい…?

竹部 『サバヌシ総会』ってフランク

な感じの名前と、私たちも関わ

ってる『市民役条例推進委員

会』って硬い名前とで、市民の

方々が連動しているものだって

感じづらいついて思うんですよ。

だから、愛称でも良いんで『市

民主役条例推進委員会』の名前

を変えちゃいましょう。

二木 第一、『市民役条例』をどれ

だけの人が知ってるの？…って

言う人もいるの。



二木佐緒里 第3部責任者

竹部 やっぱ慣れてる人が多いと、進行がスムーズになりますね。

蓑輪 『サバヌシ未来会議(第2部)』

に入るところで、みんなでカブ

を作ったのは、導入としてよか

ったし、みんながワークショップ

的なことに慣れているんで、

サッサとやってくれたよね。

竹部 ◆この仕掛けは想定外

中村 良いギャップがありました。

第1部のいろいろなムービーや、

『サバヌシ未来会議』の「カブ」

での投票などは、全然イメージ

してなかった。

仕掛けで「こんなに楽しく変わるんだな」って思いました。

記録的な大雪で、日程も場所も

変わりました。

この影響はどうでした？

八田 良かった点は、アットホーム感

が出たところですね。

会場が少し狭いから賑やかで、

皆さん発言しやすかったと思

ランコンテスト」で最初に提唱されたのですが、今回の開催内容と、当初のイメージとでギャップがありましたか？

◆この仕掛けは想定外

中村 良いギャップがありました。

第1部のいろいろなムービーや、

『サバヌシ未来会議』の「カブ」

での投票などは、全然イメージ

してなかった。

仕掛けで「こんなに楽しく変わるんだな」って思いました。

記録的な大雪で、日程も場所も

変わりました。

この影響はどうでした？

八田 良かった点は、アットホーム感

が出たところですね。

会場が少し狭いから賑やかで、

皆さん発言しやすかったと思

います。

悪かった点は、とにかく会場の

「柱」が邪魔だった！

写真撮るのも一苦勞。(笑)

二木 ◆シナリオは高くオリティー

第1部に出演者として出たんや

けど、通して読んでみたら、シ

ナリオの質がなかなか高くて

ビックリしたんやわ。

それと、リハーサルを前日から

3回もやったのは正解やったな

っても思ったの。



竹部美樹 第2部責任者

竹部 しゃべりのクオリティーは素人

っぽかったですけどね。(笑)

蓑輪さんとか場慣れしてる人な

んかは、シナリオなしでしゃべ

んなくっちゃ。

八田 シナリオをきちんと作っておか

んと、しゃべりすぎる人もい

んやっ。(笑)

蓑輪 MCは、リハーサルの回を追う

ごとに上手くなっていったの。

全員 ほやっ！

二木 前日はどうなるんやろって思っ

たけど、本番では「はー、上手

なった。大したもんや。」って

思った。

竹部 交流会のメニューは良かった。

『菜花のお吸い物』も、美味し

かった。

二木 ほれがぁ、月が変わると材料

も変わってまうんやっ。

メニュー考えるのに二転三転し

て、菜花の季節やで菜花のお吸

い物にしようってなったんやっ。

れた地域の課題を市民みんなで

考えて行く場、そして食事をし

ながら言い足りなかったことや

それぞれの思いを語り合い共

有しあう場。お口もお腹も、ツル

ツルイッパイ。でお帰りたいだ

く場になると良いですね。

では皆さん、今日はありがとう

ございました。

また来年の『サバヌシ総会』に

向けてポチポチと行きましよう。

全員 そだねー。(笑)

◆秘話の秘話 (独り言)

いや、皆さんキャラ濃いわ。

普通に話して、「アツ、その方向

からの写真はNGね」とか、お菓子の

粉で口の周りを真っ白にしながらも話

してくる人とか、人の発言中に平気

でチャチャを入れる人とか、「コチト

ラ、録音を聞きながら原稿を作んな

きゃいけーんだ」っつーの。(涙)

でも、みんな好きなことを言っ

ている中で、これからの『サバヌシ

総会』につながる意見が多かったのは、

さすがに大口サバヌシの方々でした。

鯖江のサバヌシの底力って、本当に

大したもんですわ。

あ、楽しかった☆

(OSANPO編集部)

※「大口サバヌシ」とは、サバエのことに

主體的な視点で高い興味と意識を持ち、

地域全体のことを考えながら、自発的に

関わる人を指す造語です。



コラム サバとカブ

～“サバヌシ”について考える～

■市民Ⅱ株主

実は「市民（国民）は、地域（国）の株主」という考え方は、今から8年ほど前に耳にしたのが最初でした。そのはるか以前から、市民と行政のあるべき立ち位置については、地方でも中央でも様々な論点があり、ひとつのステレオタイプとして『上から目線の行政vsたらい回しされる市民』のような対立は、コントのネタになるくらい古典的なイメージになっていたように思います。

■行政はサービス業？

これもかなり前からですが「行政職員は上から目線を持たずに、住民を“お客様”として迎えなくてはいけない」といったような価値感もよく言われるようになりました。

確かに、高圧的な行政の振る舞いが正しいとは思いませんし、それ以前の『お上』的な行政の反省として、『行政は市民より下』という視点は新鮮だったように思います。

民主主義において、文字通り「民は主（あるじ）」なので、正論と言えは正論でしょう。

でも、“お客様”として扱われ過ぎると、市民が『主』としての責任を忘れてしまうかも？…なんてこと、思いませんか？

■カブヌシの役割

お客様と株主は、どちらも大切にはされますが、大きな違いはなんでしょう。経済活動として考えた時、お客様も株主も、『お金』を提供します。

ただ、お客様が『対価』としてお金を支払うのに対し、株主は『投資』として資金を提供します。

つまり、株主が出しているのは、品物やサービスへの『対価』ではなく、『将来に対しての資金』だというのが、お客様と株主の決定的な違いではないでしょうか。

4～5ページにあるように『サバヌシ』とは、『サバエ』の『カブヌシ』という意味です。

また、『地域に対して責任がある』ともありますが、それは、現在の地域に責任があるだけでなく『未来の地域にも責任がある』ということ。

それこそが地域の株主Ⅱ『サバヌシ』の本質ではないかと思うわけです。

■何を投資しよう…？

『投資』と聞くと、ここまで書いたみたいに、まず『お金』が頭に浮かぶ人が多そうですね。

でもそれだと、税金を払ってない人や払えない人は『サバヌシ』ではない

ってことでしょうか？
でも、それではあまりに貧しい発想だと思いませんか？

確かに『お金』は大切な価値基準ですが、地域には、お金以外の重要な投資もたくさんあると思うからです。

『サバヌシ総会』のチラシの裏に、こんなことが書いてあります。

『カブヌシ』は投資をする人。でも、未来への投資はお金だけじゃありませんよネ。アイデアだったり、お仕事だったり、お勉強だったり：みんなの生き方ひとつひとつが、サバエの未来につながる投資です。

乱暴に言えば、生活することすべてが、『地域に対する投資』になる可能性がある。そんな内容です。

もちろん、プラスの投資もあれば、マイナスの投資もあるかもしれない。だから、自分の言葉や行動が、まわりや地域にどんな影響を与えるのか、自分なりに考えることは、『サバヌシ』の資質のひとつだとも言えるかもしれません。

■市民VS行政？

このコラムの冒頭で、市民と行政の

関係について書きました。

行政が『お上』なのか、それとも市民が『お客様』なのか？

この2つは一見正反対のことを言っているようですが、実はひとつの共通点があります。

それは、固定的な『上下関係』だけで、位置を説明しているところ。

きっと実際は、お互いの立ち位置はもっと流動的で、役割分担やまわりの状況で、上下が入れ替わることも、あるんじゃないでしょうか。

「そんな頼りない考え方は認められない！」という方もおられるでしょう。おっしゃる通りかもしれません。

ただ、地域の株主Ⅱ『サバヌシ』的視点というのは、きっと、自分以外の立場や、価値感に対して、懐を深く持つことが大切な気がしています。

第2部の『未来会議』のように、ヒトの意見を否定しないことで、新しい発見やアイデアを知る可能性は広がるに違いありません。

『市民主役』も『サバヌシ』も、地域の将来と責任を、みんなと一緒に担うという、同じ根っこの考え方。その先にある未来への挑戦は、きっとまだ、鯖江でも始まったばかりなのかもしれないですね。

サバヌシ総会 アンケート集計(抜粋)

■第1部アンケート（総回答数：38）

●楽しかったですか？	楽しかった	22	15	0	1	つまらなかった	0			
●市民主役事業の取り組みについて理解できましたか？	理解できた	28	7	2	1	理解できなかった	0			
●今後も「市民主役」を推進すべきと考えますか？	思う	32	4	2	0	思わない	0			
●今後も「市民主役」を推進する上で、どの部門を重点的に実施すべきと考えますか？(複数回答可)	ブランド	10	若者	26	市民参画	18	地域自治	12	その他	1

■第2部アンケート（総回答数：34）

●楽しかったですか？	楽しかった	27	5	2	0	つまらなかった	0
●ワークショップでは、自分の言いたいことを言えましたか？	言えた	23	9	1	1	言えなかった	0
●テーマは自分の興味のある内容でしたか？	興味ある	18	11	4	1	興味なし	0

■第3部アンケート（総回答数：27）

●楽しかったですか？	楽しかった	21	6	0	0	つまらなかった	0
●料理はおいしかったですか？	おいしかった	23	4	0	0	おいしくなかった	0
●料金設定は妥当でしたか？	高い	7	4	妥 当	12	安 い	2
●いろいろな人と交流(意見交換)できましたか？	できた	16	6	4	1	できなかった	0



『OSANPO』では鯖江の市民活動団体さんやイベントを、どんどん掲載させていただきたいと思っています。「ぜひ、私たちのことも取材して！」という団体の皆さんは、さばえNPOサポートまでご一報下さい。



『OSANPO

～サバヌシ総会 メモリアル別冊～』

- 2018年3月 初版発行
- 発行人：広報委員会
- 発行所：認定特定非営利活動法人
さばえNPOサポート
福井県鯖江市長泉寺町1-9-20
TEL: 0778-54-7055
FAX: 0778-54-7058
E-mail: info@sabae-npo.org
- <http://sabae-npo.org/>